SANGETSU

WINDOW COLLECTION

MECHANIC VOL.6

プリーツスクリーン

KP型メカ　コード式

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へのお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

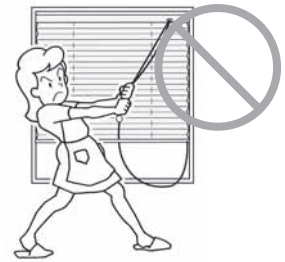
目　次

■ 安全上のご注意 ・・・

安全上のご注意（必ずお守りください）

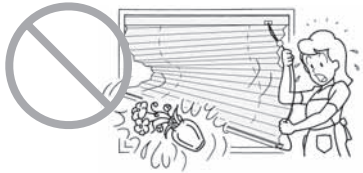
⚠ 注意

■製品にぶら下がったり、無理に引っぱったりしないでください。また、製品にものを掛けたりして、無理な力をかけないでください。製品が破損したり、落下によりけがをすることがあります。



■風の強い時には製品を降ろしたまま窓を開けないでください。製品の破損や思わぬ事故につながることがあります。

■製品の動く範囲内に動きを妨げるものや壊れやすいものを置かないでください。製品や置いたものが破損する場合があります。



■この製品は屋内用として作られたものです。屋外ではご使用できません。

■蒸気等の充満する浴室等ではご使用できません。サビなどの発生により製品機能の低下、生地の変形、または不具合発生の原因となります。

■水気のかかる場所、結露に触れるような場所ではご使用にならないでください。生地にシミ等が発生する場合があります。

お取付けになる前にお読みください

⚠ 警告

■製品重量に耐えられる下地に取付けてください。

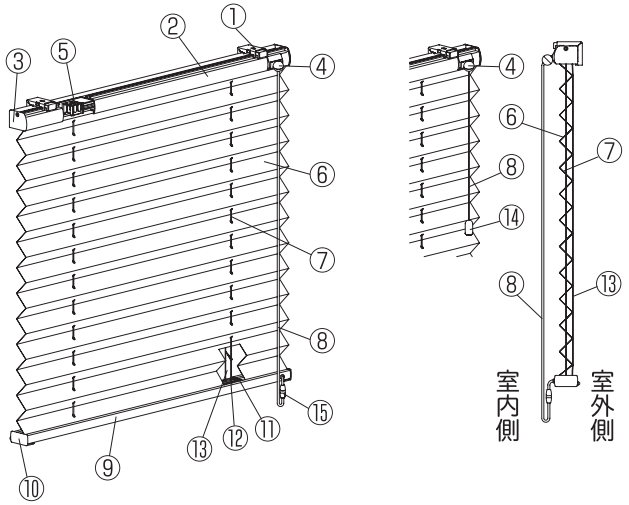
⚠ 注意

■付属のブラケット取付けビスは木部用です。木部以外への取付けにはご使用にならないでください。木部以外への取付けは専用のビス、アンカー等をご使用ください。

■本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下することがあります。

各部の名称

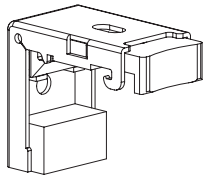
■標準タイプ（コード式）



※製作寸法により、昇降コード本数、位置が変わります。
※製作寸法により、製品幅の1/2で重ね合せとなることがあります。

① 取付けブラケット	⑥ 生地	⑪ 生地押え
② ヘッドボックス	⑦ 昇降コード	⑫ 昇降コード止め
③ ボックスキャップ	⑧ 操作コード	⑬ ピッチ保持コード
④ コードイコライザー	⑨ ボトムレール	⑭ コードタッセル
⑤ サポート	⑩ ボトムキャップ	⑮ セーフティージョイント

付属部品

部品名称 ＼ 製品幅（mm）	取付けブラケット	取付けビス
		
～1200	2 個	2 本
1210～2000	3 個	3 本

※製品発注時にレールビスを頼まれた場合は、ブラケットと同数分同梱されています。

製品の取付けかた

必要な工具　・プラスドライバー　・巻尺（スケール）

1）製品の確認

製品の変形、破損、付属部品の不足等がないことを確認してください。異常がある場合は取付けできませんので、お買い上げいただいた販売店、最寄りの弊社支店までご連絡ください。

2）取付け下地の確認

・製品に付属しているビスは木部用です。木部以外への取付けには使用しないでください。

・木部に取付ける時は、厚さが10mm以上であることを確認してください。

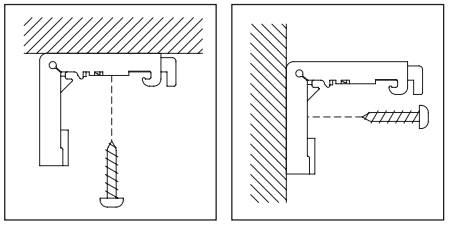
・木部以外の下地に取付ける時は、その下地に応じたビス、アンカー等をご使用ください。

3）取付けブラケットの取付け

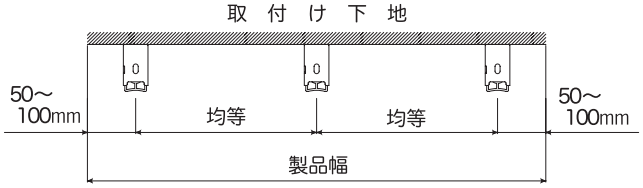
取付けブラケットの取付けかたには、天井付けと正面付けがあります。

①取付けブラケットは製品の左右からそれぞれ50〜100mmの間にくるように位置を決めてください（サインペン等で印をつけます）。取付けブラケットが3個以上（幅1210mm以上）の場合は取付けブラケット間隔が均等になるように位置を決めてください。

■窓枠内に取付ける場合（天井付け）　■窓枠を覆う場合（正面付け）



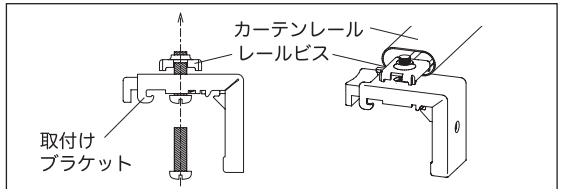
例）取付けブラケット3個の場合



※）取付けブラケットの位置はサインペン等で下地に印を付けておくと分かりやすいです。

②カーテンレールに取付ける場合は専用のレールビスを使用して取付けてください。

※製品発注時にレールビスを頼まれた場合は、「レールビス取付説明書」が同梱されております。この「レールビス取付説明書」にしたがって取付けてください。



カーテンレールのランナーを全て抜き取り、レールビスを上図のように取付けブラケットに組み込み、カーテンレール端部よりスライドさせ位置を決め、ドライバーで固定してください。

③取付けブラケットを取付けビスでしっかりと固定してください。

④取付けブラケットが確実に固定されていることを確認してください。

製品の取付けかた

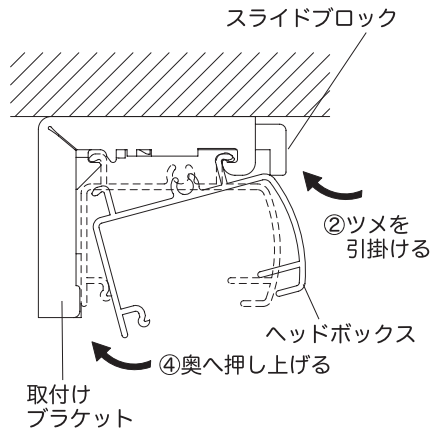
4）製品の取付け

①「操作のしかた（P6）」に従い、生地を上げ、生地を完全にたたみ込みます。

②製品を両手で持ち、既に取付けた個々の取付けブラケットの手前のツメにヘッドボックス手前のツメを引掛けてください。

③ヘッドボックスを取付けブラケットのツメに引掛けた状態で左右の位置決めをします。

④取付け位置が決まりましたら、取付けブラケット（スライドブロック）のツメがかかるまでヘッドボックスの奥を押し上げてください。（ツメがかかりますと、パチンと音がなります。）



⑤ヘッドボックスが取付けブラケットに確実にとまっていることを確認してください。

注）製品本体を取付ける際に、ピッチ保持コードを取付けブラケットにはさまないように注意してください。

⚠ 注意

製品本体取付け時には、取付けブラケットに本体が確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないと製品が落下し、思わぬけがをすることがあります。

製品の取外しかた

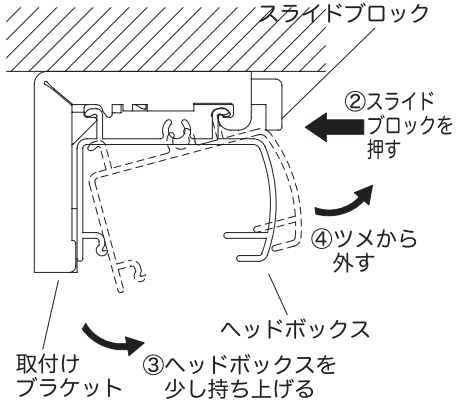
①「操作のしかた（P6）」に従い、生地を上げ、生地を完全にたたみ込みます。

②製品を手で支えた状態で、取付けブラケットのスライドブロックを押します。スライドブロックを押すと、ヘッドボックス後側のロックが解除され、ヘッドボックスが外れます。

③②の状態から、ヘッドボックスを少し持ち上げるようにして、製品を取外してください。

④ヘッドボックスの手前のツメを、取付けブラケットの手前のツメから外してください。

注）スライドブロックを操作する時は製品が落下しないように、必ず製品を手で支えてから操作してください。

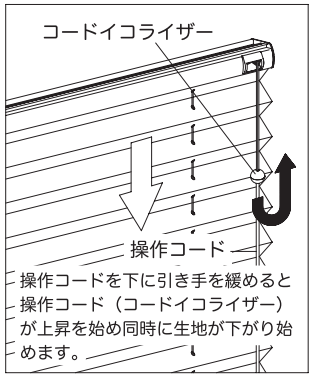


操作のしかた

昇降動作のストッパー機構は、操作コードを引くごとに、ストップと解除が繰り返す機構になっています。

◆生地を降ろす時

操作コード（またはコードイコライザー）を下に引き手を緩めると生地が下がります。途中で止めたい場合は、再び操作コードを少し引き、手を離すとその位置で生地が止まります。



⚠ 注意

生地を降ろす場合は必ず操作コードを持って、操作をしてください。操作コードから手を離しますと、生地が勢いよく下降し、けがや故障の原因となります。生地が止まるまで、絶対に操作コードから手を離さないでください。

◆生地を上げる時

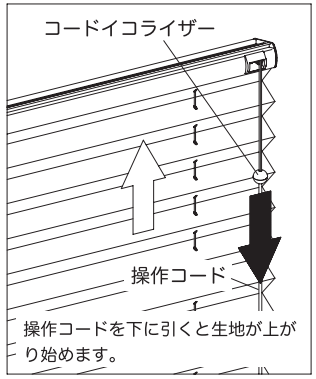
操作コードを下に引くと生地が上がります。

①一番下まで降りている生地を上げたい場合

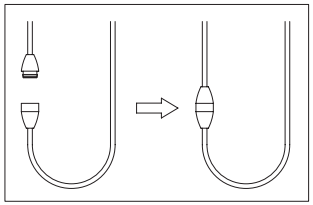
操作コードを下に引くと生地が上がります。手を離すとその位置で生地が止まります。

②途中で止まっている生地を上げたい場合

操作コードを少し下に引き、一旦手を緩めてから、再び操作コードを下に引くと生地が上がります。手を離すとその位置で生地が止まります。



※操作コードには、製品を安全で快適にご使用いただくため「セーフティージョイント」を組込んでいます。これは、操作コードに負担がかかった場合などに、そのコードを分割させる仕組みの部品です。操作中に外れてしまった場合は、再びはめ直してご使用ください。



お手入れのしかた

●日頃のお手入れは、羽はたきやハンドモップ等で汚れやほこりを取り払って下さい。その際、折ったり曲げたりするとシワが付き、痕が残りますのでご注意ください。

こんなときは

症　状	原　因	処　置
生地が下まで降りてこない。	・生地のバネ性が強い。	・製品を一番下まで降ろした状態で、手でボトムレールを引っぱってください。
製品が落ちた。	・取付けビスが抜けた。 ・取付けブラケットが破損している。 ・製品が取付けブラケットに確実に固定されていなかった。	・取付ける面の種類に応じた取付け方で取付けてください。お買い上げいただいた販売店にご相談ください。 ・取付けブラケットを交換してください。 ・この取扱説明書にしたがって取付け直してください。